

町民のひろば

千葉県知事賞

(中学生の税に関する作文コンクール)

私たちのための税金



横芝中学校二年 伊野 真理子さん

伊野 真理子さん

六月のある日のこと、父が「はい、ボーナス」といって、母に袋を手渡した。母は袋をあけ、明細を見ていたが、やがて「わー、税金が一分以上も引かれてる」と不満そうに言っていた。

私は税金を納めることって、そんなにいやなことなのかと思ひ、母にたずねてみました。母は「ただとられてしまうような気がするから」なんて言っていた。

それまで私は、私の家では収入がどのくらいで、いくら税金を納めるかなど、考えたこともなかったし、無関心でした。

それからしばらくして、学校から「租税教室」というパンフレットをいただきました。そのとき、ふとあの母のことを思い出しました。それが、私が税金について

考えるきっかけでした。

ところで、私たち国民が豊かで安定した生活をおくるために、国が広い範囲にわたっていろいろな仕事をしているそうです。国だけでなく、県や市町村でも同じです。たとえば、私たちの健康や生活を守る「社会保障」、住宅や道路などの整備に使われる「公共事業」、教育や科学の振興のための「文教科学振興」なのだそうです。

が、私たちは、直接的・間接的にそのおかげで、こうして社会的学校生活をおくることができるのだなと思ひました。

私たちの学校は、三年前に成田空港防音対策事業に関連して新しくりっぱになりました。また、体育館も柔剣道場も新しく完成しました。これもすべて国や町の財政

でまかなわれているそうです。さらに、私たちが毎日使っている教科書や、教室の電気・水道などと考えてみると、むだに使ってはいけないと思ひました。

また、その財源は国民の税金によるものだとすることを考えると「税金は、ただとられてしまうようなもの」ではなく、私たち自身のくらしを守るために、国民が当然納めなければならないものだと思います。

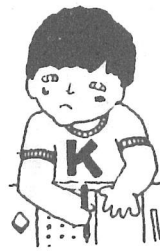
サラリーマンの私の父が納める税金は「所得税」で、商店や会社などが納める「法人税」、これらを「直接税」というそうです。そして、

て、収入によって、公平に負担するようにもなっていることも知りました。よく新聞などで、申告をごまかして脱税をする人や会社があることを聞きますが、そんなことはいけないと思ひます。国民としての義務は当然守らなければならぬと思ひます。なお、お酒・たばこや、宝石・ゴルフ用具などの高級品にも「間接税」という税金がかかっていることにもおどろきました。

私の父の場合もそうですが、毎日汗を流して働いて得た収入から納める税金です。やはり平等に、そして不正のないように納められ

なければならぬと思ひます。そして、その大切な税金が、ほんとうに国民のために有意義に正しく使われることを願っています。

私たちの幸せを守るために、もっと住みよい国をつくるためにも



横芝句会 二月例会

土屋 栗水
石川 奇水
成田 様子
宇井 芝童
原 ひさし
藤代 ゆう

向後 雅子
鈴木 南知
三枝 句城
安井ゆづる
木下石果子
住母家千夫
石毛 石汀
越川 渡舟
加藤 精一

秋場 万治
大川 彦一
佐久間久子
池田 和代
兼題 春陰 蛭螂
日時 四月六日(月)
二月号の横芝俳壇中、宇井芝童
作品に誤りがありました。次のと
おり訂正してお詫びいたします。
水もて芹供ふ ↓ 水もて芹洗ふ